

平均年収から見た女性活躍の現状

The Current Status of Women Empowerment in Terms of Average Annual Income

田邊 友昭
Tomoaki Tanabe

要旨

2016年4月に女性活躍推進法が施行された。しかし、日本社会ではまだ女性が働く環境が整っていない。企業の役員数や管理職数では男女の数に開きが大きい。平均年収で見ても、平成30年度民間給与実態調査統計調査では、男性が545万円、女性が293万円となっており、1.8倍の差がついている。女性が活躍するうえで、経済的自立は重要である。勤続年数別、年齢階層別、事業規模別（従業員数）、企業規模別（資本金）の平均値でも女性が全体の平均年収441万円（平成30年度）を上回ることはない。社会変化を踏まえ女性が活躍できる社会将来像を考察する。

キーワード： 女性活躍推進法 女性管理職 年収500万円 男女格差 男性稼ぎ主モデル